

## 浄化槽清掃記録票

清掃実施日	年 月 日	作業時刻	時 分 ~	時 分	天候	気温 ℃	汚泥の処分先				
清掃業者名	電話番号			担当者		契約清掃回数		回/年			
	電話番号			担当者		前回清掃作業日		年 月 日			
設置浄化槽情報	メーカー名	型式	計画水量	m <sup>3</sup> /日	人槽	人槽	処理方式				
	付帯設備	流入・放流ポンプ・油脂分離槽	水道種類	水道・井戸水等	容量	m <sup>3</sup>	消毒薬名称				
設置場所							地図番号				
使用者名又は施設名称							建築物用途				
管理番号	事業者管理番号	市町管理番号			法定検査実施日						
浄化槽管理者(設置者)											
保守点検業者名				電話番号			年 月 日	A・B・C・不明			

清掃作業内容	清掃時の点検及び作業内容			清掃項目	対象	清掃汚泥量	張り水
	異常な臭気	無・有	下水臭・腐敗臭 ( )	一次処理第1室		%	張り水の確認 [ ]
	流入水異常	無・有	油脂類過多・洗剤過多・異物混入・( )	一次処理第2室		%	
	管渠の異常	無・有	【流入管】滞留・破損・勾配不良・弁破損	生物反応槽		%	
			【放流管】滞留・破損・勾配不良・弁破損・逆流	処理水槽・沈殿槽		%	
	ブロワ異常	無・有	停止・振動・騒音・発熱	消毒槽		%	張り水の種類
	本体の漏水	無・有	( )	[ ]		%	
	設備異常	無・有	変形・破損・異常水位跡・隔壁破損・担体流出 る材(脱落・浮上)・配管類破損・マンホール等 ポンプ故障・( )	[ ]		%	濃縮車再生水
				[ ]		%	
	逆洗作業	無・有	( )	汚泥貯留槽等		m <sup>3</sup>	[ 処理場水 ]
強制攪拌作業	無・有	( )	汚泥引抜き量合計		m <sup>3</sup>		
中間水移送作業	無・有	一次処理第2室・生物処理槽・汚泥濃縮貯留槽等	濃縮車再生水量		m <sup>3</sup>		
設備洗浄	マンホール・流入弁・放流弁・スクリーン・配管及び装置類 槽内壁等・( ) ( )		汚泥搬出量合計		m <sup>3</sup>		
使用車両	バキューム車	t No.	t No.	濃縮車	t No.		
		t No.	t No.	給水車	t No.		

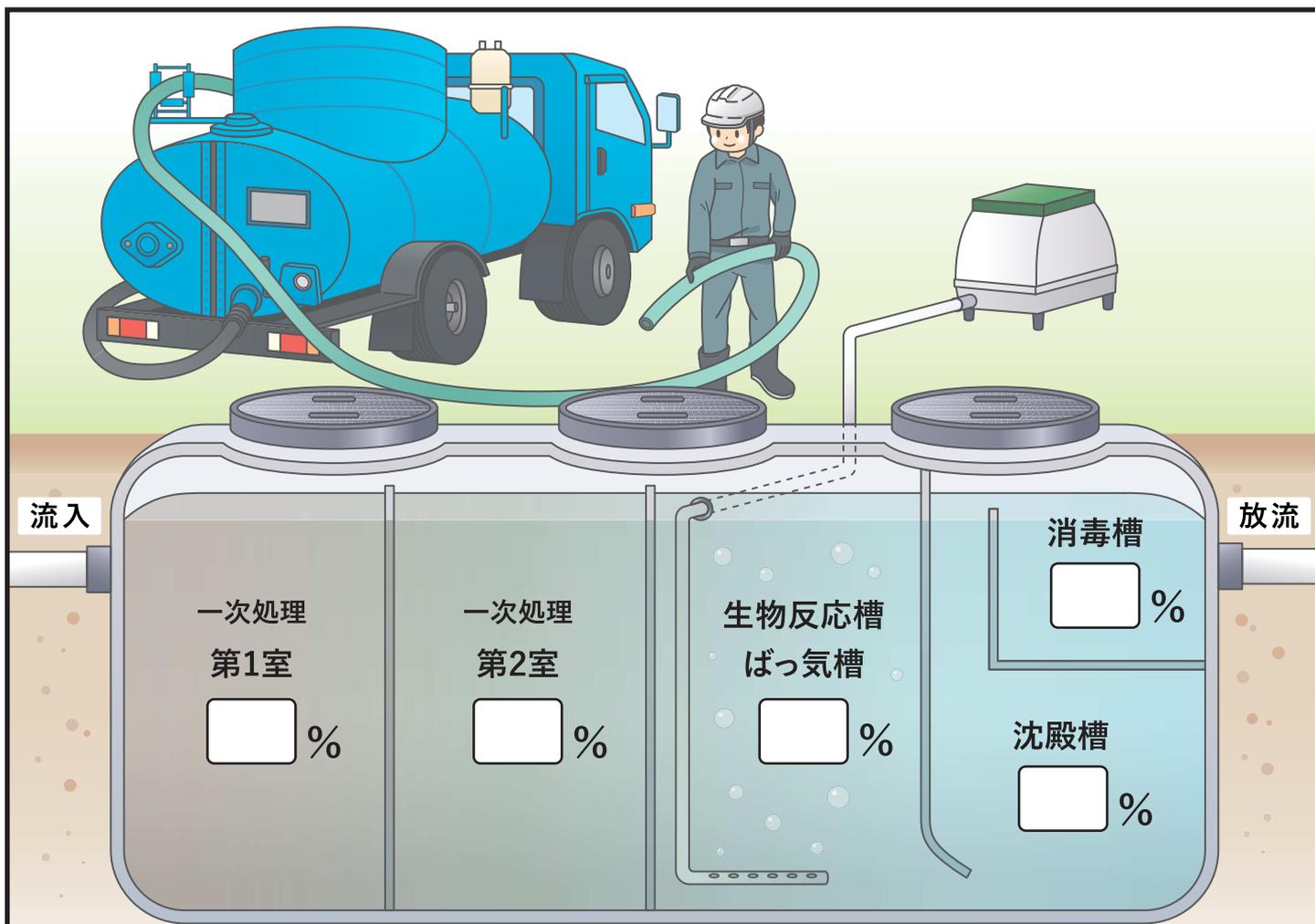
測定結果		槽内	一次処理第1室		一次処理第2室		一次処理水	二次処理水		濃縮車再生水	
		水温	スカム厚	堆積汚泥厚	スカム厚	堆積汚泥厚	透視度	透視度	pH	透視度	pH
前回の清掃作業前	年 月 日	℃	cm	cm	cm	cm	cm	度			度
保守点検	年 月 日	℃	cm	cm	cm	cm	cm	度			— 度 —
保守点検	年 月 日	℃	cm	cm	cm	cm	cm	度			— 度 —
保守点検	年 月 日	℃	cm	cm	cm	cm	cm	度			— 度 —
今回の清掃作業前		℃	cm	cm	cm	cm	cm	度			度

保守点検からの申し送り事項	保守点検への申し送り事項

報告事項	清掃作業結果
	<p>1. 清掃により処理機能を回復いたしました。引き続きこのままご使用下さい。</p> <p>2. 改善の必要があります。</p>

(注)この記録票は3年間保存してください。

※ 本記録票様式は広島県が作成し、公益財団法人日本環境整備教育センターの監修を受けています。



汚泥貯留槽等 無・有  m<sup>3</sup>

合計汚泥引抜量  m<sup>3</sup>

注意事項

トイレ

トイレットペーパー以外のものは流さないでください。便器の掃除は洗剤を適量使用してください。



キッチン

中性洗剤を適量使用し、野菜くずや天ぷら油などは流さないでください。



浄化槽

浄化槽の上にもものを置かないでください。



\*清掃作業結果

【    】 清掃作業を実施し、機能を回復しました。引き続きこのままご使用下さい。

【    】 改善の必要があります。

清掃業者名

実施担当者

TEL:

(注)この記録票は、環境省関係浄化槽法施行規則により3年間の保存が義務付けられています。  
 ※本記録票様式は広島県が作成し、公益財団法人日本環境整備教育センターの監修を受けています。